

町のさらなる発展を誓って

## 令和6年 茨城町民の日記念式典 開催

「茨城町民の日」である2月11日、旧駒場小学校体育館にて、茨城町民の日記念式典が開催されました。式典では、小林町長が「町民の皆様と行政が知恵と力を合わせ、協働してまちづくりを進めていくことができれば、茨城町の明るい未来は必ず拓ける。さらなるご支援とご協力を賜りたい。」とあいさつ。新型コロナウイルスのワクチン接種に尽力いただいた医療機関等、町政発展に功績のある方々の表彰や功績者紹介を行いました。

第2部の人づくり講演会では、歴史作家・多摩大学客員教授の河合敦さんが「世界一受けたい日本史の授業」と題して講演。日本史の驚きの最新学説や意外な歴史人物たちの逸話を紹介され、会場は盛り上がりを見せました。

### 受賞者・功績者紹介 (順不同・敬称略)

#### 功労褒賞部門

- ▶ 自治功労
  - 入野 富男
  - 川澄 敬子
  - 鳥羽田 創造
  - 石川 祐一
  - 諸川 満
  - 浅野 操
  - 海老澤 昭廣
  - 越藤 留美子
- ▶ 民生・福祉功労
  - 石井 敏幸
  - 清水 正三
  - 医療法人社団いばらき会  
いばらき診療所こづる
  - 医療法人 宇佐神クリニック
  - 緒方内科循環器クリニック
  - きむら内科クリニック
  - 桜の郷クリニック
  - 医療法人桜丘会  
脳神経外科ブレインピア桜ヶ丘
  - 医療法人 堀越医院
  - 谷口内科医院
  - 医療法人  
井出整形外科内科クリニック
  - 公益財団法人報恩会 石崎病院
  - MED AGRI CLINIC いばらき
  - 独立行政法人  
国立病院機構 水戸医療センター
  - 医療法人社団博洋会 金敷内科医院
- ▶ 治安・防災功労
  - 山崎 豊重
  - 藤岡 正一
  - 江幡 武男
  - 高安 一郎
  - 立原 紘三郎
  - 江幡 衛
  - 藤枝 賢司
  - 石川 峯男

#### 令和5年叙勲・褒章受章者 (敬称略・内閣府発表順)

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 高齢者叙勲 (瑞宝双光章)     | 山口 悦郎 |
| 危険業務従事者叙勲 (瑞宝単光章) | 東崎 早苗 |
| 高齢者叙勲 (瑞宝双光章)     | 和田 敏雄 |
| 高齢者叙勲 (瑞宝双光章)     | 中山 幹夫 |
| 秋の叙勲 (瑞宝単光章)      | 細谷 志美 |



高齢者叙勲 花束を受け取る  
中山 幹夫さん



茨城町少年の主張 笹目凜さん (葵小6年、右)  
高橋音乃さん (青葉中3年、左)



人づくり講演会で講演される河合敦さん

- ▶ スポーツ功労
  - 茨城町立青葉中学校女子剣道部
  - 久保田 美希

#### 善行褒賞部門

- ▶ 地域善行
  - 長岡区
  - 米川 貴夫
  - 石田 精一
- ▶ いばらきまち三世代同居家族賞
  - 関 篤さんご家族 (上石崎)



### 1/24 (水) 青葉小 農業や食、地産地消の大切さ学ぶ 食育・地産地消体験学習

農業に関心を持ち、食の大切さを知ってもらおうと、ひらさわファーム (平澤協一代表)、ファームランドさいとう (斉藤卓也代表)、町生活改善クラブ連合会 (照山友子会長) が連携した「食育・地産地消体験学習」が青葉小学校で行われました。

平澤さんは毎年、総合的な学習の時間で、青葉小5年生を対象にボランティアで農業を教えています。今回の体験学習では、平澤さんの畑で白菜の収穫を行いました。また、斉藤さんからは、米の作り方に関する合鴨農法や新しい農業技術についての話があり、児童たちはクイズ形式の質問に答えながら、関心をもって学習に取り組みました。

後日、5年生の家庭科の授業において、町生活改善クラブ連合会の皆さんの協力のもと、平澤さんから提供された米やバケツで育てた米を使って白米を炊き、収穫した白菜を使ったみそ汁をつくる調理実習を行いました。当日使用した手作りみそは町生活改善クラブ連合会から提供されたものです。

児童たちにとって、農産物の生産・収穫から調理、食べるまで体験できる貴重な機会となり、自分たちで育てた米や自分で収穫した白菜を使ったみそ汁の味に、児童たちは「新鮮でおいしい。」「稲や野菜を育てている農家さんは大変だけどうぞい。」と笑顔を見せました。

白菜は、平澤さんから町内全校の学校給食にも提供していただきました。



白菜収穫体験の様子



合鴨農法や農業の新技术を学習



生活改善クラブの皆さんとの調理実習

### 2/5 (月) 茨城町環境審議会 再生可能エネルギービジョン 策定の答申書を提出



茨城町環境審議会 (海老澤貞雄会長) から、小林宣夫町長に、「茨城町再生可能エネルギービジョンの策定について」の答申が行われました。

本ビジョンは、令和6年度から令和15年度までの10年間で計画期間として策定するもので、町の特性を生かした再生可能エネルギーの利活用について将来的な方向性を示したものです。町で最も有効利用が期待できる再生可能エネルギーは太陽光であるとともに、農畜産業から排出される未利用資源をバイオマスエネルギーとして利活用する方向性についても取りまとめられました。

答申では、「ゼロカーボンシティ宣言表明自治体としての自覚をもって前例にとられない取組」と「町民や事業者等との連携」について、十分留意して実施するよう提言を行いました。町は、今後も引き続き、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーの利用促進に関する施策を進めていきます。

### 1/28 (日) 地域の防災力向上 消防ポンプ自動車交付式 (秋葉)



防衛省の施設周辺民生安定施設整備助成事業により、茨城町消防団第3分団第1部 (秋葉) へ新消防ポンプ自動車整備され、茨城町消防本部にて交付式が行われました。

今回の消防車両は3.5トン未満のため、普通自動車免許でも運転が可能であるという特長があります。また、最新の資機材が搭載され、複雑多様化する災害での対応力が期待されています。秋葉消防団部長の東崎拓也さんは「新しい消防ポンプ車を有効活用し、今後もさらに地域防災力の強化、地域の安全安心に貢献していきたい。」と意気込みを語りました。

